

御厨三十三観音巡礼報告書

報告者 名倉富美子

年月日 2010年05月12日(水・雨のち晴)

回数 第4回

参加者 18名

- 巡礼寺・順 ●二十一番札所 延命寺(えんめいじ・御殿場市深沢)
* 本尊 * 山号 * 宗派 * 寺歴
* 廃寺
- 二十二番札所 法円寺(ほうえんじ・御殿場市二枚橋)
* 本尊 * 山号 * 宗派 * 寺歴
* 廃寺
- 二十三番札所 万法寺(まんほうじ・御殿場市萩原)
* 本尊・万法寺地藏尊 * 山号 * 宗派 * 寺歴
* 無住職
- 二十五番札所 広源寺(こうげんじ・御殿場市島田)
* 本尊・帯観世音大仏 * 山号 * 宗派
* 寺歴 * 無住職
- 二十四番札所 智光院(ちこういん・御殿場市新橋)
* 本尊・ * 山号・ * 宗派・ * 草創

距離 約3Km+1.5Km+1.5Km+1Km+2.5km+7Km=約16.5Km

タイム 御殿場駅8:15-円通寺発8:44-延命寺9:40-法円寺10:45-万法寺11:00-広源寺11:45~12:43(昼食・休憩)
-智光院13:16-岩波地先15:23-温泉

温泉 御殿場温泉会館(500-)

経 費 なし

参考資料 関口霧岳著「御厨観音横道巡礼 霊場めぐり画文集」
 小山町観光協会HP

曇り空の下、8：15全員（18名）バス乗車。通勤ラッシュで時間より遅れ出発。御殿場駅でトイレ休憩をして一路、前回最終の二十番札所・円通寺にバスを走らせる。

寺に到着し各自準備体操後8：44、SさんTさんをバスに残し巡礼開始。田植えを終えた田んぼを見ながら歩く。雨に洗われた舗装道、山裾より上がる霧を見ながら歩を進め、しばらく行くと山藤の紫が鮮やかに見え、橋に差し掛かる。橋名は「轡橋」。何と読むの??と、橋を渡ったら平仮名で書いてあり正解は「くつわばし」でした。ちなみに意味は・・・

- 1 《口輪の意》手綱(たづな)をつけるため、馬の口にかませる金具。くつばみ。くくみ。「一をとる」
- 2 手綱。
- 3 紋所の名。円形の中に十字を置く。轡の鏡の部分の形をかたどったもの。
- 4 遊女屋。また、遊女屋の亭主。忘八(ぼうはち)。

Yahoo 辞書から



この橋を越えた所に「観音堂道」という道標があった。ただ、どのような物かは分からなかった。

カエルの声、川音を聞きながら足柄道を上って行く。五月の爽やかな風を感じながら、息も少し上がりがち。「ガンバレ」。

足柄道を上り切ると、なだらかな道になり鳥のさえずり、マムシ草が頭をもたげている。徐々に青空が見え陽が差して木の葉も光っている。モロコシを植え付ける親子。「お茶摘みも遅れている」との事。

あるお宅の庭にクマガイ草が群生。エビネ・クレマチスの花も開きそう。「ワ～、凄い！」シャッターを押す人もいた。途中、十王堂の祠に詣りました。隣には水神宮碑がありました。十王とは・・・

十王（じゅうおう）とは、道教や仏教で、地獄において亡者の審判を行う 10 尊の、いわゆる裁判官的な尊格である。数種の『十王経』類や、恵心僧都源信の『往生要集』に、その詳細が記されている。人間を初めとするすべての衆生は、よほどの善人やよほどの悪人でない限り、没後に中陰と呼ばれる存在となり、初七日 - 七七日（四十九日）及び百か日、一周忌、三回忌には、順次十王の裁きを受けることとなる、という信仰である。

生前に十王を祀れば、死して後の罪を軽減してもらえるという信仰もあり、それを「預修」と呼んでいた。十王は死者の罪の多寡に鑑み、地獄へ送ったり、六道への輪廻を司るなどの職掌を持つため、畏怖の対象となった。なお、俗に、主に閻魔に対する信仰ととられる場合もある。これは、閻魔以外の諸王の知名度が低いせいであると考えられている。

十王	読み	本地	審理
秦広王	しんこうおう	不動明王	初七日（7日目・6日後）
初江王	しょこうおう	釈迦如来	二七日（14日目・13日後）
宋帝王	そうていおう	文殊菩薩	三七日（21日目・20日後）
五官王	ごかんおう	普賢菩薩	四七日（28日目・27日後）
閻魔王	えんまおう	地藏菩薩	五七日（35日目・34日後）
變成王	へんじょうおう	弥勒菩薩	六七日（42日目・41日後）
泰山王	たいざんおう	薬師如来	七七日（49日目・48日後）
平等王	びょうどうおう	観音菩薩	百か日（100日目・99日後）
都市王	としおう	勢至菩薩	一周忌（2年目・1年後）
五道転輪王	ごどうてんりんおう	阿弥陀如来	三回忌（3年目・2年後）

二十1番札所・延命寺に9：40着。ここは寺とは名ばかりで実際は田んぼの中でゴミ置き場と間違えそうな、約1坪位のブロック積みのお堂だ。お勤め済ませ9：50、巡礼を続ける。



十王堂



延命寺

懐かしい麦畑が見える。更に進むと藤の門がかりのお宅が見えた。(立派!)
ここから巡礼寺ではないが、「大雲寺」の立派な山門(深澤城の大手門を移築したが関東大震災で焼失後、作り変えた)を潜り、トイレを拝借した。

境内には自然湧水があった。池の鯉のお腹周囲が妙に気になりました。荒れた
天気でポッポッと雨が落ちて来た。遠くで雷も鳴り、雨が本格的になった。
コンビニで傘を買ったり、カップを着たり。・・・御厨の通り雨・・・??

次第に巡礼は御殿場市内に移り、二十二番札所・法円寺に10:45着。現
在ここに寺はなく二枚橋コミュニティーセンターに変わっている。裏に苔むし
た石塔が幾つか佇んでいる。小雨の中カップでお勤め。



左・二枚橋コミセン



上・萩原地区センター

二十三番札所・万法寺に11時着。ここも現在は萩原地区センター横のコミセン内に地蔵尊が安置されていた。なお、隣には弘法大師の石像が並んでいた。また、春か秋に地蔵尊祭りが開催されるようです。

ここに十王の意味が掲げてあり、朝の十王経の意味を納得した。七月七日の忌日の謂れも……。皆で読経してトイレを拝借。



日吉神社



管理人さんと世話人さん

この頃より天気は安定し雨は上がり再び歩き出す。R401からR246に出る。やたらに飲食店の看板が目につき、時間的にもお腹が空いて来た。

二十五番札所・広源寺（お堂）11:45着。予定の時間通りに読経後昼食となる。（あ～あ、嬉しい！）また降って来た雨をBGMに軒下でランチタイム。バス内で摂る人もいた。

腕自慢・味自慢・旬の物が右へ左へ……。美味しく頂きました。御馳走さまでした。12:43出発。雨は収まりひと安心。近くの日吉神社を詣でトイレを拝借。「子育乃右之神」なるい石があり、撫でて膝をさする人もあり。龍神の口が蛇口式で開閉。エコですね。

ようよう陽が当たり出し、皆お昼も食べた事で足取りも軽くなった様である。街中に入って来る。御殿場駅南の踏切を渡り、二十四番札所・智光院に13:16着。入り口に「のちの世を 願う心は尊くも 仏の利生 智光院かな」とあった。

八重桜も残っており、700年余の歴史を持つという寺（戦没者・国鉄御殿場線工事の犠牲者の慰霊を祀る）で菩提樹が二本両脇に植えられていた。裏手

に回って声を掛けたら若い女性の管理人が本堂を開けてくれた。本堂でお勤めを済ますと、世話人さんが駆けつけてくれ、一緒に記念撮影に収まってくれた。ハイ・ポーズ。有難いことです。智光院管理人 西沢えりか 0550-84~2354。

後はひたすら二十六番札所・宝林院を目指してGO～！！商店街より少し垣間見える大きな富士山。荒々しい山肌と眩しい太陽。14：16。竈（かまど）にてトイレ休憩。

田植えをする人たちがいた。沼田口あたりではブロック塀の間に千手観音らしき像があった。馬頭観音・道祖神が生垣の間に秘めやかに立っている。御厨地方は道祖神が二体らしい。15：23、オカムラ製作所前にて本日の巡礼は終了。万歩計は28000歩だった。16：00、御殿場温泉会館にて入浴。500円。シャンプー・洗顔料が充実してたね。和気あいあいムードで大広間の小宴会！！17：29、全員バス乗車。いよいよ帰路へ。一言ずつ感想を～。「お疲れさま～でした！！」

番外

食べる事を通じて仲間のコミュニケーションも充実！ 一合掌一

おまけレシピ・・・お昼に美味しかった。

① 野菜スティックのごまだれ

・味噌 ・マヨネーズ ・すりごま ・みりん ・砂糖 ・醤油少々 ・はちみつ

② ごぼうスティック

ごぼうを水にさらして肉を柔らかくする粉・そば粉を塗して＝唐揚げにする。
注＝浮き上がるまで待つ。火を止めてそのままに、暫くして上げること。

③ ワラビのあく抜きした後

めんつゆ・浅漬けの素・・・等に漬けこむ



智光院